

村山浅間神社の歴史



寺と神社はなぜ並んでいるのか？

富士山興法寺



昔、村山浅間神社の場所には「富士山こうほうじ」というお寺があり、富士山を修行の場にしていた修験者たちが集まっていました。このお寺は、神様と仏様をいっしょに祀る「しんぶつしゅうごう」という考え方ができました。

けれど、明治時代になると「しんぶつぶんりれい」という神と仏を別々にするというルールができ、お寺だったこうほうじはなくなり、代わりに村山浅間神社という神社ができました。そして、仏様を祀る「大日堂」というお堂も残っているので、今でも神社とお寺が並んでるように見えるということです。

つまり、昔の修行の場所が今も形を変えて残ってるというすごいことなんです！

なぜ神と仏はまつられていたのか？



昔、日本に仏教が入ってきたときに、すでに、しんどうという自然や神を信じる考え方があり、争うのではなく、「神と仏はどちらも大事にする」というやさしい考え方が生まれました。その考え方が「しんぶつしゅうごう」といい、神は仏が日本人を助けるために変身した姿という「ほんじすいじゃくせつ」という考え方がありました。つまり、神と仏はつながっている、と思われていました。なので神社とお寺がいっしょにあったり、神と仏両方にお参りする、「両参り」という風習も生まれました。

水垢離（みずごり）について



水垢離って何？

簡単にいうと、

「神仏に祈願する前や、修行として、冷水をあびて、心身のけがれを清める行為」

神仏＝神と仏をまとめたことば

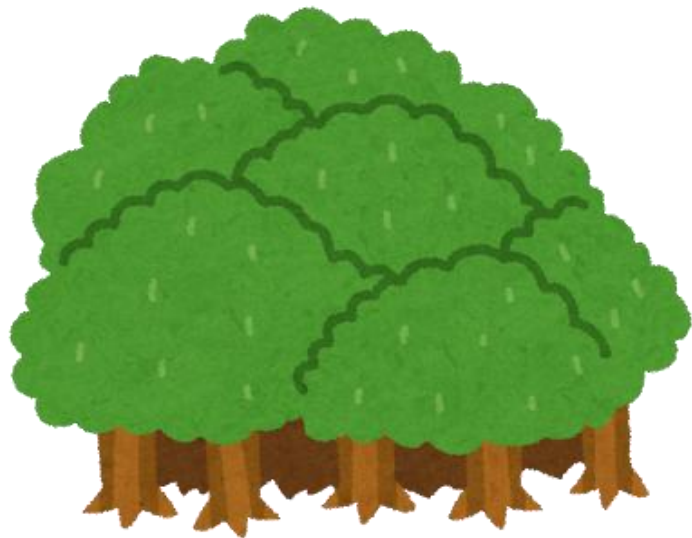
祈願＝神仏にお祈りすること

雑念＝余計な考えのこと



水垢離の水ってどんな水？

主に、『冷たい自然の水』らしいです！



開山式とは？

開山式は『山に登るシーズンが始まる際に行われる安全を祈願する祭事や儀式。』



ごまたきとは

- ・ ごまきという木の板に願い事を書いてつける
- ・ ごまきをひの中で燃やす



ごまたきはなぜやるのか

- ・ 煙が願い事と一緒にそれへ届けてくれる

ごまたきの効果

①調伏（ちょうぶく）

②息災（そくさい）

③増益（ぞうやく）

④厄除け・開運（やくよけ・かいうん）

⑤心願成就（しんがんじょうじゆ）

・じょうじゆ《意味》願いがかなうこと

・ましよう《意味》悪魔による障害

・しょうがい《意味》悪い夢を繰り返し見て、すいみんを邪魔（じゃま）すること。

首のない仏の像



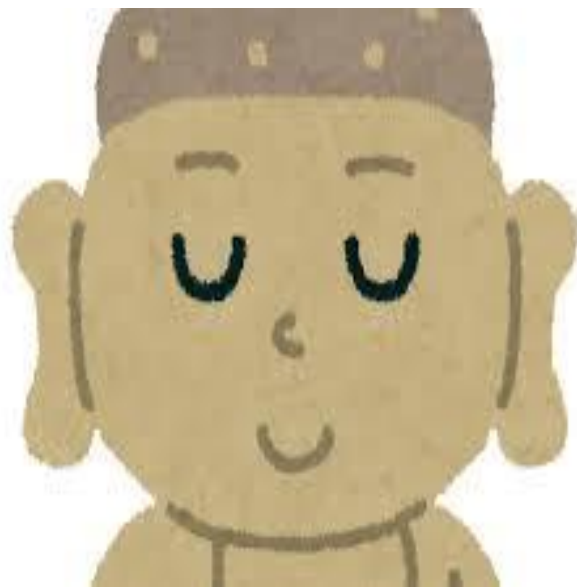




「日本を神の国にしよう」

明治時代に神と仏をわけて日本を神の国にしようという法律ができました





なので、人々は仏様の首を吊るしたり、お寺を壊してしまいました。

はいぶつきしゃくうんどう

廃仏毀釈運動



このように仏様を追い出したり仏様をまつているてらを壊すことをことはいぶつきしゃくうんどうといいます

このようなことがあったので今大日堂の中に
首のない像として残っています。



村山浅间神社と富士山の関係



【クイズコーナー★】

Q：村山浅間神社の主祭神は誰でしょう？]

- A. 天照大神（てんじょうたいしん）
B. 木花之佐久夜毘売命（このはなさくやひめ） C. 伊弉諾尊 → 正解：B
（いいたくそん）

Q：仏を追い出したり寺を壊すことを何運動と言うでしょう

- A. 廃仏毀釈運動（はいぶつきしゃくうんどう）
B. 神寺失踪運動（かみでらしっそううんどう）
C. 寺寺混合運動（てらでらこんごううんどう） → 正解A

Q:昔の人は村山浅間神社に来て何をしていたでしょう

- A.遊んでいた
B.修行していた
C.勉強していた

答えBの修行していた



まとめ

- 1 大日堂の中には九人の神様が祀られている、首を落とされてしまった仏の像がある
- 2 ごまたきは煙と一緒に願い事を空へ届けるという役割があります

《まとめ》

3, 水垢離は修行として冷水をあび、けがれを清める行為。

4, 開山式は、水垢離をしたり人々の安全を祈願したりする儀式。

まとめ

5・むかしの村山浅間神社は修行する人の身を清める場所として使われた。

6・水垢離が今でも残っている。

まとめ

- 7・村山浅間神社は神社と寺が両方ある
- 8・神と仏はどちらも大事にするという考え方から、神と仏を別々にするという考えに変わった

村山浅間神社の歴史を調べて.....

1 村山浅間神社の歴史を沢山の人に知ってもらいたい、これからも護摩焚や水垢離を引き継いで守っていきたい

2 開山式でなにをやっているか調べてみたら、みんなが健康に生活できるような儀式があって嬉しかった

3 昔から村山浅間神社は人の役に立っていてすごかった

ありがとう
ございます

